

## プロジェクト課題活動実績

### 課題名：集落営農法人設立による効率的な土地利用型農業の推進

柳井農林事務所農業部 チーム員：棟居、安良田、田村、藤原、中野、明石、末富

#### <活動事例の要旨>

南すおう地域では、柳井市及び田布施町を中心に、担い手の明確化と担い手への農地集積を進めて、ほ場整備田の農地の荒廃を防ぐ営農のしくみづくりに取り組んでいる。

国営緊急農地再編整備事業対象地区では、3地区で担い手への農地集積を促進し、より効率的な営農体制を図れるよう農用地利用改善組合の設立を支援した。その結果、上記の3地区で改善組合が設立でき、担い手に農地集積を進めるしくみができた。

また、既存基盤整備地区では、4地区で法人化の設立誘導を行い、1地区で集落営農法人が設立できた。

#### 1 普及活動の課題・目標

- ・ 南すおう地域では、未基盤整備田の割合が他地域に比べて高い等の理由もあり、耕作放棄地の増加が懸念されていた。そこで、平成23年度から開始した国営緊急農地再編整備事業を契機として、ほ場整備地区（柳井市及び田布施町）を対象に、ほ場整備田の農地の荒廃を防ぐため、担い手の明確化と担い手への農地集積を進めるための営農のしくみづくりに取り組んでいる。
- ・ 営農のしくみづくりの1つとして、法人化への働きかけを加速させ、その結果、平成25年度から平成26年度に5つの集落農業法人が誕生した。
- ・ 今年度は、国営緊急農地再編整備事業対象地区では、担い手への農地集積を促進し、より効率的な営農体制を図れるよう、農用地利用改善組合の設立を支援する。また、既存基盤整備地区では、担い手への農地集積及び法人の設立誘導を行う。

#### 【目標と実績】

目標項目	H24	H26	H27		H29
	(基準年)	(現状)	(目標)	(実績)	(目標)
集落営農法人数	9法人	14法人	17法人	15法人	23法人

#### 2 普及活動の内容

##### (1) 既存ほ場整備地区での活動内容

- ・ 1地区で法人設立発起人会を設置し、定款(案)、営農に係るルール、機械、施設の整備計画と営農計画、資金繰りの作成を支援した。
- ・ 3地区で法人化への勉強会や視察研修を実施し、今後の営農体制について検討できるように支援を行った。

##### (2) 国営緊急農地再編整備事業の実施地区での活動内容

- ・ 基盤整備の面工事が始まった3地区で、当該地区が基盤整備後の営農のしくみづくりを主体的に考えられるように農用地利用改善組合設立発起人会設立を支援した。
- ・ 発起人会では農用地利用改善組合の役割や担い手の明確化、営農条件等についてできるように支援を行い、改善組合設立へと誘導した。

### 3 普及活動の成果

#### (1) 既存ほ場整備地区

- ・ 田布施町 1 地区で営農組合を法人化する形で、集落営農法人を設立できた。設立後、他地区の担い手が預かっていた地区内農地5ha を新たに集積することができた。
- ・ 柳井市の 2 地区は法人化の合意形成はできなかったが、法人化にむけた勉強会を役員会で継続することとなった。

#### (2) 国営緊急農地再編整備事業対象地区

- ・ 3 地区で農用地利用改善組合が設立でき、担い手毎にエリア分けして農地集積を進めていくことで合意形成できた。

### 4 今後の普及活動に向けて

#### (1) 既存ほ場整備地区

- ・ 引き続き、法人化への合意形成を進め、法人化を支援する。

#### (2) 新規ほ場整備地区

- ・ 基盤整備工事の進捗に合わせ、営農のしくみづくりを進める。